

子育てコラム

百万本が植えられた壮大なコスモス畑が、日本にはいくつもあるのです。昨日の TV ニュースでも子ども達が「きれい！きれい！」と可憐な花と親しみながら、コスモス畑の中を駆け回っていました。

たった一粒の種から、「ほら、こんなにきれい！」とはしゃぎ、そしてイメージが心の中で開花。それが動き出し、子ども達をいきいきとさせていく楽しさ「きれい！」さは、とりわけ明日を夢見る子ども達の心を育てます。そこには、いいこと美しいことだけに心を乗せていく子ども本来の姿があるようになりません。

コスモスは野の草とも言われますが、見つめていると、生活に彩を添える優雅なひと時にもなります。

それにしても、台風、豪雨、強風が通り過ぎても、倒れることもなく、ピーンと背を伸ばし立ち続けているコスモスがあるのには驚かされます。地を這う根っこが強靱なのですね。ここでは、足元を強くするからこそ、可憐さもひと際（きわ）輝くことを教えてくれます。



9月 こすもす 詞 /五十野惇

♪ ほら きこえるね
 ピチ パチ ラルー
 ピチ パチ ラルー
 こすもすの はなと ひかりと かぜの おしゃべり
 みんな ここへ おいで

♪ ほら あきの いろ
 しろ あか ピンク
 しろ あか ピンク
 そらを みあげて きらきら まぶしく ひかるよ
 みんな ここへ おいで

学生ブログコメントから

はなと ひかりと かぜの おしゃべりを可愛らしく表現していて、ピチ パチ ラルーが口癖になってしまいました。ピチ パチ ラルーは円になって踊れそうだし、2人でやるなら手遊びにもなりそうですね。

百万本のコスモスを見てきました。平日の昨日でしたが沢山の観光客が見に来ていました。背丈が大きくて通路を歩いていても見えないほど…コスモスの大パノラマやっばり見事でした。

凄い！綺麗ですね～今年の百万本は来年には倍になるってほんとうですか？加藤登紀子さんの100万本の薔薇にも負けないくらい愛を感じます。コスモスは最高！ピチ パチ ラルー という音の表現がとてもかわいらしいと思いました。

1、5メートルもあるとは知りませんでした！表現の仕がかわいくて子どもは喜ぶと思いました。とっても素敵で綺麗なお話しでした。なんだか…キラキラした情景が目に見えました。

はなと ひかりと かぜの おしゃべりを可愛らしく表現してとても良いと思いました。こすもすの花畑に行きたい気持ちになりました。子ども達と行ってこの歌を歌いたかったです。

子育てコラム

どの子も、蜘蛛（くも）の巣にひっかるの、キライといます。外見についても気持ちが悪く、毒をもっているのではなどと話してくれます。

それにしても、あの鮮やかな美しい魔法のような機（はた）織り。子どもなら、その蜘蛛の巣がどんな精密な細工や仕掛けによって作り出すのだろうかと好奇心がわいて、思わず木切れを拾い、巣をめっちゃめっちゃにしまいます。

すると、待ち伏せていたのか雲助のような顔をした蜘蛛が「がっかりしたように」かわいそうなしぐさを見せながら、そそくさと逃げていくのを見かける時があります。

ことわざに、「朝の蜘蛛は福が来る」とあります。蜘蛛は害虫を捕る益虫で殺してはいけないというのです。実際、蜘蛛は畑を食い荒らす虫を退治してくれる畑のお掃除屋さんです。いってみれば環境をよくする昆虫、エコ昆虫といってもいいかもしれません。

9月 くも 詞 /五十野惇

♪ この くも くもすけ わるものか
かぜに のって とんで くる
♪ この くも くもすけ わるものか
あみを はって まちぶせる
♪ この くも くもすけ わるものか
さくもつを くいあらす むしを くうよ
♪ それでも くもすけ わるものか



学生のプログコメントから

クモが風で飛ぶってなんかいやだ・・・よく歩いてるとクモの巣にぶつかることがあります。クモに待ち伏せされてたんですね笑 でも、そうやってクモは虫を捕まえるんですよ。

このお話は、「くもという生き物は、悪者なのか？」という疑問を投げかけ、その後にくもの特性について、少しずつ話します。そして最後に、「作物を食い荒らし、私たち人間を困らせる虫を食べてくれる」と話します。くものこの行為は、人間にとってはありがたい行為かもしれませんが、生きるために必死になって自分たちの食料を探し、やっとの思いで食べている虫からしてみれば、とても残酷なことです。でも私は、このお話を教材に、農業をあまり使わない農業について、人間とその他の生き物との関わりあいをこども達に話し、未来の農業について考えさせようと思います。

見かけが怖いからって、悪者扱いしてはいけないよ。みんないいところがあるのよ。そんなメッセージが伝わってきました。子どもたちとも、実際にクモを見てみたりクモのいい点やクモにまつわるお話をしたいです。実際に見に行くときは、雨上がりが良いですね。クモの巣がきらきらしてきれいだから、子どもたちみんな気に入ると思います。

前半は怖いイメージや悪そうなイメージだけれど、後半になるとそのイメージが一転し「作物を食い荒らす虫をくうよ」でいいやつなんだ！とイメージが変わるところが面白いと思いました。最後は「それでも くもすけ わるものか」と疑問を投げかけているような感じなので、子供たちと話し合ってもいいと思いました。そうすれば、ただクモを嫌うのではなくいいところを見つけることもできるし、ほかの虫にも興味がでると思いました。

くもの好きな子はあまりいないと思います。絵本でもいつも悪者の役です。そんなくもは

本当に悪い虫なのかなということを、幼児と一緒に考えたいとおもいます。

9月 くず 詞 /五十野惇

- ★ のびる のびる つるが のびる
のはらで めだつ くさ
くずの くき
- ★ あまい におい くずの おはな
ちょうちょの かたち
そっくりね



学生のプログコメントから

まず、子供たちに葛湯を飲ませたいと思いました。とびっきり甘くした葛湯、きっと好きになると思います。それから、葛をじっくり見に連れて行きたいと思います。このつるが、はっぱが、どうしてとろとろあま〜い葛湯になるのか、教えたいです。

おさんぽに出かけて道を歩いているといろいろなはっぱが生えています。このくずというはっぱは特徴がたくさんあるので、匂いかいで、「ちょうちょみたいだねー」ってこどもたちとこの歌を歌いたいです。

葛湯は聞いたことがあったけど、くずが実際にどのようなものか知らなかったので、花がちょうちょの形をしていたり、甘いにおいがしたり初めて知ることばかりです。私のように知らない子どもがたくさんいると思うので教えてあげたいです。



9月 すずき 詞 /五十野惇

- ★ すずきの はっぱは ほそくて ながい
てっぺんには はなが さく
のやまの かわいた ところに はえる くさね

学生のプログコメントから

すすきといたら秋って感じがします。すすきにも花が咲くこと、かわいた所にはえる事を教えてくれる歌で、みんなですすきを振りながら歌ったら楽しいなあと思います。

すすきは遠くで見てる分では、花までは見たことがありません。先生のこの唄を詠んでこんどじっくり観察してみようと思います。

私が小さい頃、すすきは河原などに沢山生えていて、特に秋になるとすごく長くなって黄金がかった色で河原がいっぱいになると感じていました。色はついていないけどとっても細長くて、沢山生えていたのですすきは私にとって身近な存在でした。けれど色が茶色系のためかあんまり近くへ行って見た事もなかったので、すすきに花があるという事は知りませんでした。だからこうやって歌を通して、その植物の特徴を知る事が出来るというのは素敵だと思いました！この歌をみんなで歌う時は、「すすきの葉っぱは細くて長い」まで最初はしゃがんで手を上で合わせてその状態でどんどん高くなってきて「てっぺんには花が咲く」で背伸びして手を広げて開いて花が咲く、など踊りをしながらやったらまた楽しめるなあと思いました。

子育てコラム

秋の虫の音が情緒ある音に聞こえるなんて日本人の素晴らしいところですね。そんな心を子ども達に育てたいものです。きょうは、虫の音を言葉に仕立てた詞を紹介しながら秋の風情を楽しんでみましょう。



9月 くつわむし 詞 /五十野惇

- ♪ がちゃ がちゃ となりの いえの だれかさん
- ♪ しずかに してね となりの いえの だれかさん
- ♪ がちゃ がちゃ なくのは くつわむし

9月 きりぎりす 詞 /五十野惇

- ★ あれは まだ ともだちの いない こえ
さびしそう ちょんぎ一す
- ★ だれを まつの きりぎりす



9月 えんまこおろぎ 詞 /五十野惇

- ♪ えんまだいおうは えんまこおろぎの かおに にてるというけれど
えんまだいおうは えんまこおろぎ みたいに
ころ ころ ころと はねを こすって なくのかな
ほんとかな



9月 うまおい 詞 /五十野惇

- ★ すいちよ すいちよ
ねぼすけくんの こもりうた
「ねぼすけくん けさは どうして こんなに はやく おきたの」
「うまおいの きかいが こわれたの」
- ★ すいちよ と なくのは うまおいと いう むし



9月 まつむし 詞 /五十野惇

♪ はて さて ちん ちろ りん
 ♪ まつむしが とけいの うえで ちん ちろ りん
 ♪ とけいは なるよ ちん ちろ りん
 ♪ いま なんじ ちん ちろ りん
 ♪ はて さて ?



9月 りーんりーん すずむし

詞 /五十野惇

★ りーん りーん
 すずむしに でんわ しているのは だれ

学生のプログコメントから

このように歌で秋を知るのは、子供にとって身近に感じられてよいですね！がちゃがちゃ鳴く虫がいるなんて子供たちが知ったらきっと大人気。読み聞かせも楽しいけど、皆で丸くなって踊れるね！

クツワムシという虫を初めて知りました！！私のようにきっと知らない子供たちもいると思います。このように歌で色々な事を知るのは、子供にとって身近に感じられてよいですね！がちゃがちゃ鳴く虫がいるなんて子供たちが知ったらきっと大人気ですね。みんなで丸くなって「がちゃがちゃ」を大声で言って「となりのいえのだれかさん」の所で隣の人と手を結ぶというようにみんなでやったら楽しいだろうなあと思いました！

まずスズムシ役の子を一人決めて、紐かりボンを持たせます。そしておにごっこ形式でゲームをスタートさせスズムシの子はリーンリーンと言いながら捕まえていく。全員スズムシにしていこう！

秋といって一番最初に思い浮かべるのは、すずむしだと思います。すずむしの鳴き声を聞きながらお月見をする、という日本独自の文化を自分の物にするために、この詩を通して理解していければいいと思いました。でんわのところで、手で電話のまねをしたりして、遊べばもっと面白いだろうと思いました。

私はこの歌を使って、人当てゲームをしたいと思いました。まず、すずむし役の子を囲んで皆が丸くなります。そして先生が音楽を流し、適当なところで音楽をとめます。音楽が流れている間だけ、皆はクルクルとオニの周りを回り、音楽が止まったら皆も止まります。音楽が止まったら、「りーんりーん すずむしにでんわしているのは だれ？」とすずむし役の子が質問をします。すずむしに電話をしている子はすずむし役の子の真後ろにいる子です。電話をしている子は、「私の名前は○から始まります(佐藤だったら「さ」)」「私は髪の毛が長いです」など、自分の特徴をヒントに出します。すずむし役の子はそのヒントを元に自分に電話をしてくれた人を当てるゲームです。このゲームをするとすずむし役の子は考える力がつくと思うし、電話をした役の子は自分の特徴などを、少し客観的に見ることが出来るようになると思いました。秋になると庭からリーン、リーンという声が聞こえてくるのを思い出しました。すずむしの子と電話をかける子を決めて、誰が電話をかけているのか当てるゲームが出来ると思いました。

「ちんちろりん」という鳴き声と長い足から、「とけい」に見立てているこのお話はとても面白いと思います。まつむしがどのような虫なのか、写真やいろいろな資料を見せながら、子どもたちにこのお話をしてあげれば、子どもたちもまつむしについて、理解しやすいと思います。そして、同時に、時計をよむ練習もできると思います。時計とまつむし、2つのことを関連づけて子どもたちに話をする事で、子どもたちも、楽しく時計について学ぶ事ができると思いました。幼かった頃、算数で時計を使った問題があり、時計を読み取る事に苦手意識があった私は、そのような問題はあまり好きではありませんでした。けれど、このお話を使って時計の勉強をすれば、子どもたちはあまり「勉強」だとは思わず、きっとすんなり学んでいく事ができると思います。